

第3学年 英語科学習指導案

日時 平成25年11月21日(木)

学級 3年A組(男子21名 女子19名 計40名)

授業者 教諭 和田 智恵

1 単元名 PROGRAM 8 Clean Energy Sources (開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元について

(1) 教材観

PROGRAM 8では、太陽光・風力・波力・潮力・地熱など自然の力を利用した再生可能エネルギーによる発電を取り上げている。①では環境を汚さないクリーンエネルギーの大切さ、②では太陽光エネルギーについて読み取る内容となっている。③では、様々な電力源とその特徴を学び、自分たちの住む地域に適した発電方法を考えることも期待できる。

新出文型としては「関係代名詞の目的格の用法」について指導する。教科書の表現を理解することを通して使い方を学び、これらの習得によって、人や事物についてさらに詳しく説明することができるようになり、生徒の表現の幅がより広がると考える。

(2) 生徒観

英語学習に対し、意欲をもって取り組む生徒が多く見られる。文法事項や語彙の多さに苦手意識を持っている生徒も見受けられるが、コミュニケーション活動には大変積極的に取り組んでいる。昨年度の諸調査から、全体的に4技能のバランスはとれているが、まとまった英文を読むこと、書くことに苦手意識をもっているという課題が見えた。具体的目標としてチャレンジテストでの平均280点以上、特に英文構成50%、読解60%以上の平均正答率を目指し取り組んできた。その結果、チャレンジテストでは平均300点以上、英文構成60%、読解67%と、目標スコアを超えることができた。これまで英文を読み、英文で要約する学習には取り組んでいるが、自分の考えを書く活動はあまり経験せずに、ここまできている。そこで、卒業までに、①さらに読み取りの力をつける、②ある程度の長さのある英文を読んだ後で、根拠を示しながら自分の考えを英語で書く力をつける、という2つの目標をたてた。本単元では、少しでも自分の考えを英語で表現できるようにするために、セッションごとに自分の考えを書く場面を設定していきたい。

(3) 指導観

本教材は、太陽光・風力・波力・潮力・地熱など自然の力を利用した再生可能エネルギーによる発電についての内容である。本単元の学習を通して、関係代名詞(目的格)の用法、意味を理解し、運用できる力をつけたい。指導の流れとしては文法については、パターン・プラクティスや教科書の音読を取り入れ、文構造の確実な定着を図りたい。各単位時間では新しく学ぶ文法事項を確実に身に付けさせた上で本文を読み、内容に対する自分の考えを英文で書き、それらを積み重ねていくという指導過程を位置づけた。最終的には初見の英文の読み取りをし、読み取った内容について、既習事項や教科書、辞書を積極的に活用しながら自分の感想や意見を表現させたいと考えている。

3 単元の目標

- (1) まとまりのある文章を読んで、自分の考えを英語で書く。
- (2) 間違いを恐れずに、辞書や教科書を活用しながら積極的に書く。
- (3) 関係代名詞の目的格の用法を用いた文の構造を理解する。

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
間違いを恐れずに辞書や教科書を活用しながら積極的に書いている。	まとまりのある文章を読んで、自分の考えを書くことができる。		関係代名詞(目的格の用法)を用いた文の構造を理解している。

5 単元の指導と評価の計画（7時間）

時	○ねらい ・学習活動	評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・学習チェックシートを活用し、本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。		
	○目的格の関係代名詞 which を用いた文の構造を理解する。 ・目的格の関係代名詞 which を用いた文の構造を知る。 ・目的格の関係代名詞 which を用いた文を使えるように練習する。	エ	後日ペーパーテスト
2	○教科書本文（p.83）を読み、windmills についてまとめ、自分の考えを書く。 ・ワークシートを活用しながら TF、QA により本文の大きな内容を読み取る。(答えの根拠になる単語や文にはアンダーラインをひかせる) ・音読練習をする。(リピート、グループ、ペア等) ・教科書から引用できそうな英文を抜き出しながら、自分の考えを書く。	イ	作文チェック
3	○目的格の関係代名詞 that の使い方を理解する。 ・目的格の関係代名詞 that を用いた文の構造を知る。 ・目的格の関係代名詞 that を用いた文を使えるように練習する。	エ	後日ペーパーテスト
4	○教科書本文（p.85）を読み、太陽光エネルギーについて理解する。 ・ワークシートを活用しながら TF、QA により本文の大きな内容を読み取る。(答えの根拠になる単語や文にはアンダーラインをひかせる) ・音読練習をする。(リピート、グループ、ペア等)		
5 ※ 本 時	○風力と太陽光エネルギーでは、どちらが大船渡に適する発電方法だと思うか、自分の考えを書く。 ・教科書やプリントから引用できそうな英文を抜き出しながら、自分の考えを書く。	イ	作文チェック
6	○目的格の関係代名詞を省略した文の構造を理解する。 ・目的格の関係代名詞を省略した文の構造を知る。 ・目的格の関係代名詞を省略した文を使えるように練習する。	エ	教科書の問題 後日ペーパーテスト
7	○新校舎に適する発電方法は何かと思うか、自分の考えを書く。 ・教科書以外の資料を用い、これまで学習したこと以外の発電方法に関する英文を読み、内容を理解する。 ・新校舎に適する発電方法が何か、自分の感想や意見を必要に応じて辞書を活用しながら英語で書く。	ア イ	活動の観察 作文チェック

6 本時の指導

(1) 本時の目標と評価規準

観点	目標	A 「十分満足できる」	B 「おおむね満足できる」	C 「具体的な対応・手だて」
表現	○本文を読み、内容について I think や because などを用いて自分の考えを書くことができる。	本文を読み、I think や because などを用いて 30語以上の正確な英語表現で自分の考えを書くことができる。	本文を読み、I think や because などを用いて 30語程度の英単語を使い、自分の考えを書くことができる。	机間指導をし、本文から使える英文を見つけさせ引用させる。

(2) 本時の展開

段階	○学習活動	形態	◇指導上の留意点「資料」◆評価
導入	<p>○ 帯活動</p> <p>1. Basic Dialog Master</p> <p>2. Review Reading</p> <p>○ 本時の学習課題の提示</p> <p>1. 自分の考えを書く表現を確認する。</p> <p>2. 本時の課題を提示</p>	<p>ペア 一斉</p> <p>一斉</p>	<p>◇集中して話させる、声を出させる。</p> <p>◇自分の意見を述べる英語表現を確認させる。</p>
8	<p>風力と太陽光エネルギーでは、どちらが大船渡にとってよりよい発電方法だと思うか、自分の考えを書こう！</p>		
展開	<p>○ 前時までの復習</p> <p>1. QAで、前時までの確認をする。</p> <p>2. 風力、太陽光エネルギーについて確認する。</p> <p>○ 自分の考えを書く</p> <p>1. 大船渡についての英文を読む。</p> <p>2. ペアで内容を確認する。</p> <p>3. 英作文</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>①I think windmills are good. They are useful for our future <u>because</u> windmills don't give off green house gases. They don't use fossil fuels. I think wind power is a clean energy source. (33語)</p> <p>②Solar energy is useful <u>because</u> we can change solar energy to electricity in different ways. This is used to power clocks, calculators, and even cellphones. (25語)</p> </div> <p>○ グループでの交流</p> <p>1. 書いたものをお互いに読み合う。</p>	<p>一斉</p> <p>個人 ペア 個人</p> <p>グループ</p>	<p>◇キーワードは板書し、自分の考えを持たせる。</p> <p>◇なかなか書けない生徒には、感想を書くために、引用できそうな英文を確認させる。</p> <p>◇机間指導し、良いものは紹介し、参考にさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆【外国語表現の能力】</p> <p>本文を読み、内容について I think や because などを用いて自分の考えを書くことができる。</p> <p style="text-align: right;">(作文チェック)</p> </div> <p>◇参考にしたい英文にはアンダーラインをひかせる。</p>
まとめ	<p>○ 学習の振り返りと次時の確認</p>	<p>個人</p>	<p>◇本時の学習を振り返らせる。</p> <p>「学習チェックシート」</p>
5			